

プロジェクト概要書

フィッシャリーナ後背地「(仮称)魅力体験広場」基本計画策定プロジェクト

2019年7月24日

豊島まゆみ事務所 × **B | NOMURA**

計画地の特徴について

エリアの顔づくり

ビギナーズビーチとのつながり

クルマの交通量を抑えて安全な横断

角地で眺めが良い

後背地エリアの顔づくり

導入エリア

エリア1

核となる施設

フィッシャリーナとのつながり

各エリアの核となれる配置

アプローチを歩車分離し、安全性に配慮

パーキング

エリア2

漁業組合エリアと組み合わせた活用が見込める

エリア3
(将来活用エリア)

比較的静かなエリア

* 本企画書には、著作権法に定める検討の過程における利用等として著作権等の承諾を得ていない著作物等が一部に含まれている可能性があります。このため、本企画書は社内検討資料としての使用のみに留めて頂くことを予定しており、それ以外に使用された場合には当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

二級河川加茂川

単位
H.W.L

全体レイアウト

Front Area ≒ 1000 m²

Tiny Area ≒ 800 m²

Core Area ≒ 1200 m²

Activity Area ≒ 2000 m²

Parking Area (80台) ≒ 3000 m²

Next Area ≒ 3800 m²
(Parking Area 70台)

漁業組合所有面積: 約3,800m²

エリアの顔づくりとなるエリア。ビーチサイドの一体的な整備に伴い歩行者のアクセスも想定されることから歩行者にやさしいアプローチ。繁忙期にはイベントカーなどの誘致も行い、エリアの賑わいづくりを行う。



駐車場不足の背景から、敷地西側に駐車場を整備。繁忙期と閑散期の利用率の格差が想定されることから漁業組合所有地との一体的で柔軟な活用を想定。



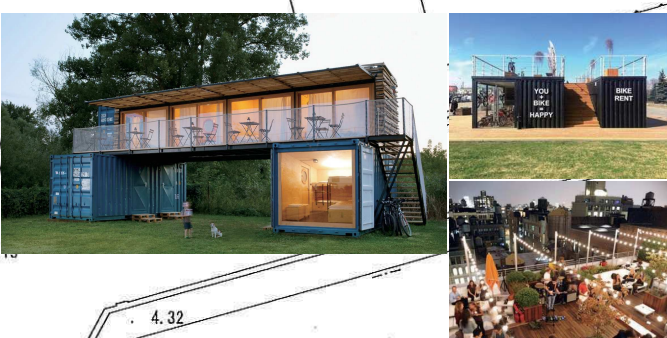
将来を見据えて利活用を想定するエリア。漁業組合所有地という面も踏まえ、定置網を干す機能と繁忙期駐車スペースとして用途を柔軟に変化させる。イベントスペースとしても活用が見込める。

Tiny (小さな家) をテーマに、キッチンカーなどの移動式店舗を活用し、屋外での飲食機能を中心としたエリア。ビーチとの一体感を創出するためビーチ寄りの配置。



エリアの核となる建物を中心としたエリア。コンテナ的建築など簡易な建物を想定し、2階建てとすることでビーチへの眺望を確保。周囲は広いデッキを整備。年間を通じた活用や日よけ雨よけに対応

<機能(案)>
1F: カフェ飲食機能 / インフォメーション機能 / レンタル品倉庫
2F: アクティビティ用品レンタル機能、休憩機能
屋上: テイクアウト眺望デッキ
(※トイレ機能は将来対応)

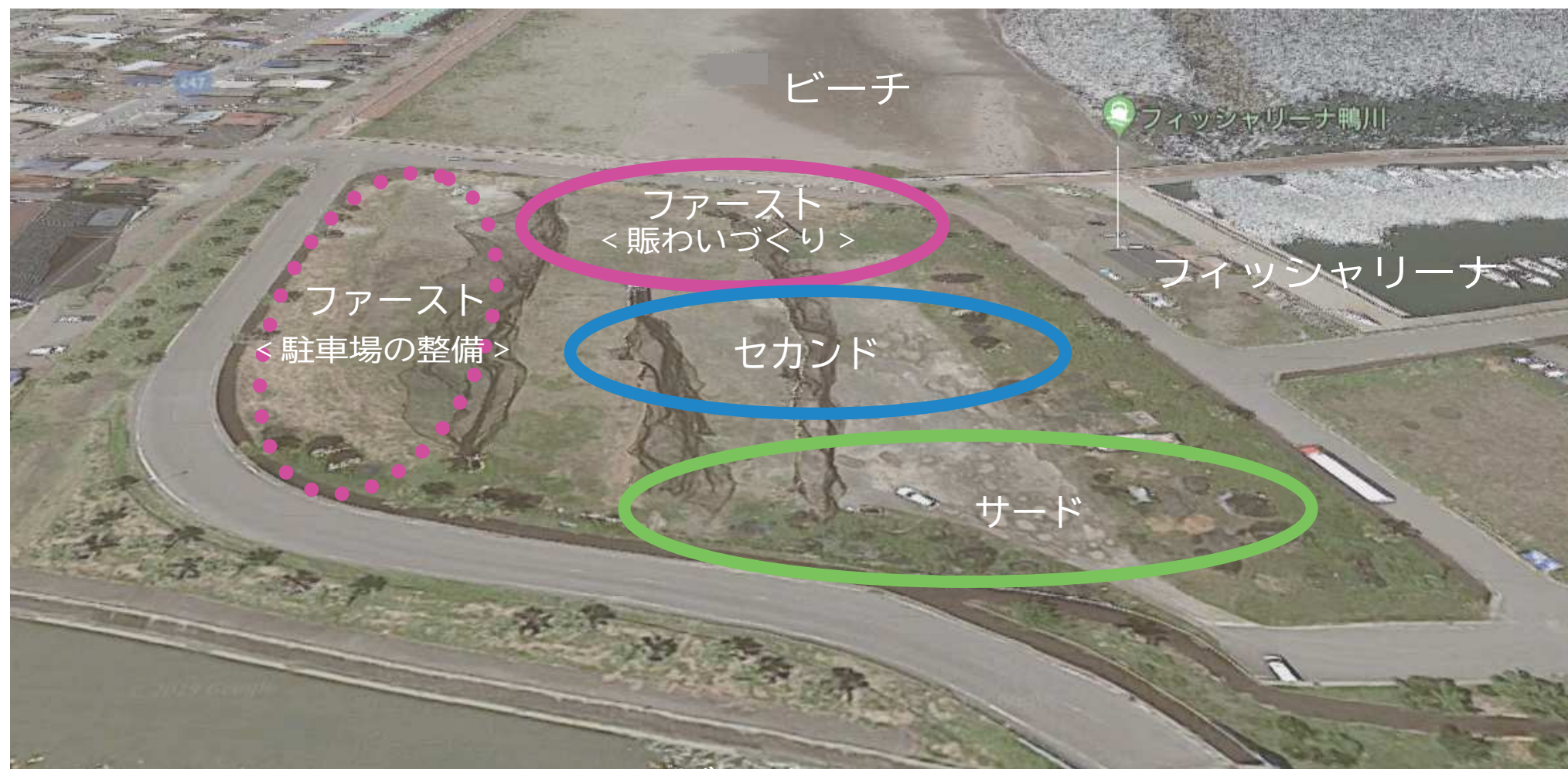


様々なイベントやアクティビティに対応できるフレキシブルなエリア。電気などのインフラを整備し、BBQなどの利用時の利便性を高める。NEXT AREA と組み合わせてエリアを拡大して活用することも可能。



* 本企画書には、著作権法に定める検討の過程における利用等として著作権等の承諾を得ていない著作物等が一部に含まれている可能性があります。このため、本企画書は社内検討資料としての使用のみに留めて頂くことを予定しており、それ以外に使用された場合には当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

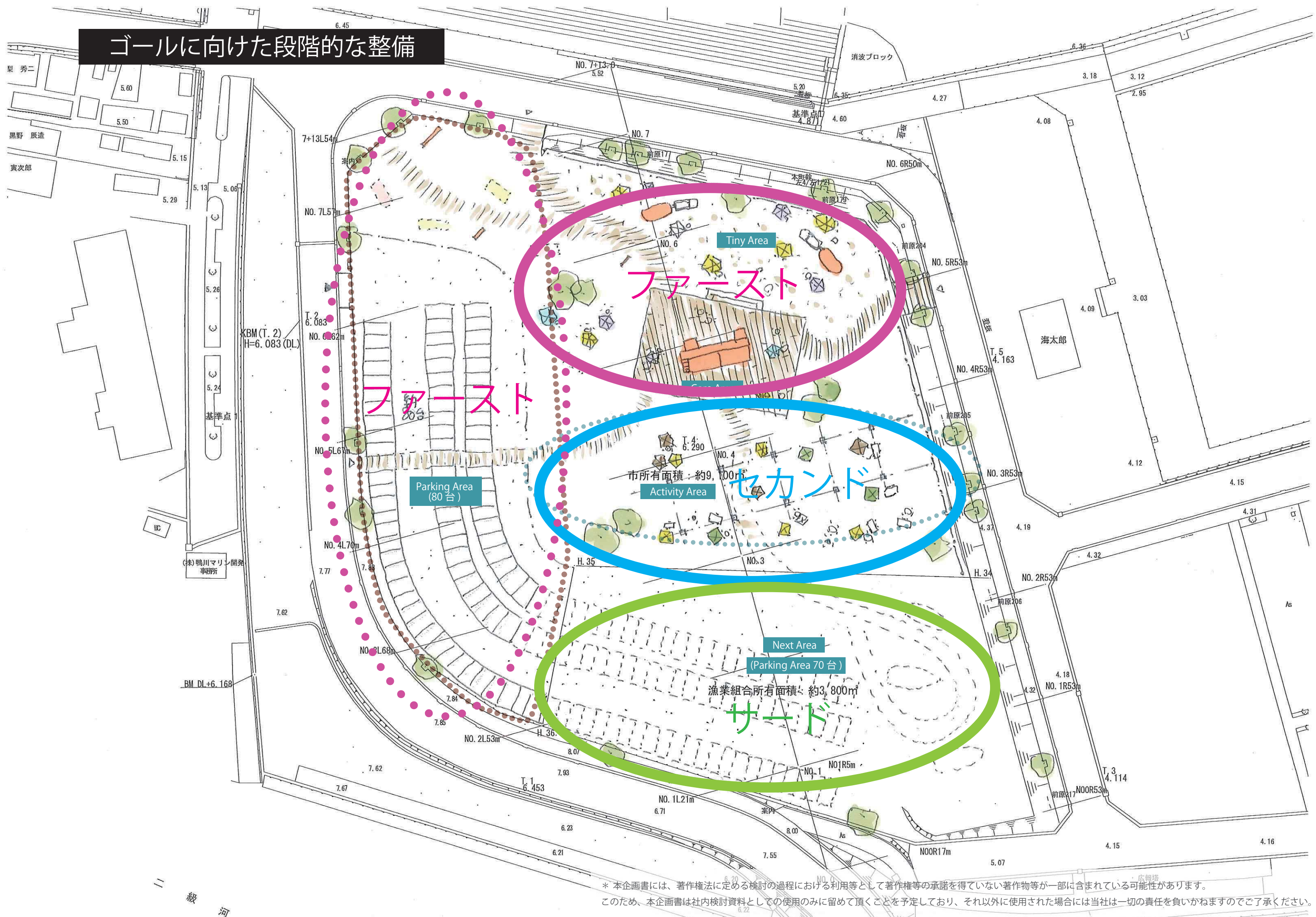
ゴールに向けた段階的な整備



案

* 本企画書には、著作権法に定める検討の過程における利用等として著作権等の承諾を得ていない著作物等が一部に含まれている可能性があります。このため、本企画書は社内検討資料としての使用のみに留めて頂くことを予定しており、それ以外に使用された場合には当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

ゴールに向けた段階的な整備



* 本企画書には、著作権法に定める検討の過程における利用等として著作権等の承諾を得ていない著作物等が一部に含まれている可能性があります。このため、本企画書は社内検討資料としての使用のみに留めて頂くことを予定しており、それ以外に使用された場合には当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。